

みんなの広場



下安松・アカバケ

下安松と本郷の境、ちょうど柳瀬川が大きく湾曲している北岸に、コンクリートで固められた切り立った崖があります。ここは、かつて見事な地層の露頭が見られ、アカバケと呼ばれてきました。



アカバケ(昭和30年ごろ)

近くに住む人の話では、清瀬の駅前からタクシーに乗って「アカバケまで」と言えばすぐ理解してくれたといいます。「バケ」は崖のことで、茶褐色の関東ローム層が露出していることから呼ばれるようになった。

所沢市域は、関東ローム層と呼ばれる地層で形成された武蔵野台地の上にすっぽりと乗っています。アカバケは、その関東ローム層と下の砂礫層の断面が露出したものです。当初は傾斜地であったものが、柳瀬川の侵食作用によって削られていき、急な崖が形成されたものと考えられます。

ところで、柳田国男の『地名の研究』によると、崖の上面を「ハケ」、側面を「ハバ」、急斜面を「ママ」と呼ぶとあり、東京付近では「ハケ」を高台の端のことを言うとしています。地名で「ハケ」と呼ばれるところは各地にあり、「町」「元」「峠」「塚」等といった文字が当てられています。市内にもそうした地名が多く見られ、たとえば、同じ下安松の「町下」、上安松の「向町」、南永井の「大崎」、北秋津の「町山」、上新井の「元」等々があります。これらはいずれも傾斜地や崖になっています。アカバケの「バケ」は、おそらく「ハケ」から転化したものと考えられます。

現在、アカバケはコンクリートで覆われてしまいつの面影はありません。アカバケと呼ばれていたことを知る人も少なくなっていきます。しかし、崖に面した柳瀬川は、平成6年以降、松柳橋や遊歩道などの両岸整備が着々と進められ、すっかり様変わりをしました。早朝や夕方には周辺に住む人びとの散策する姿があらこちらに見られ、市民の憩いの場所として新たな風景をつくりだしています。



現在のアカバケ

一瞬の集中力が勝負の決め手です



大会の様子

登内さんは、これまで数多くの大会に出場し、上位の成績を納めてきました。「試合中は周りを気にせず的に当てることだけに集中します。大学時代は、試合中に、頭が真っ白になってしまうこともありましたが、最近では、試合中に舞い上がる事はなく集中出来るようになりました。」

また、今後の目標はとの問いかけに「秋に開催される宮城国体に出場するためにまず関東大会で上位3位以内に入ることで」と、今後の抱負を語ってくれました。

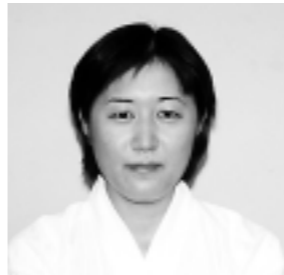
所沢市弓道連盟には、約240人が加盟しており、女性の参加者も多く、年齢層もさまざまです。弓道の先輩、人生の先輩に囲まれ、「私の周りには良いお手本がたくさんあります」と話す登内さん。今日もりんとした表情で弓を引いています。

市内中富にある所沢市武道館の弓道場を訪ねました。静寂の空間を裂くように引き絞られた弓から「パーン」と鋭い音が響くと、28メートル先の的に鋭い目線を送る女性がそこにいます。

今回ご紹介する登内さんは、所沢市弓道連盟に所属しています。今年6月上旬に行われた全日本女子弓道大会(東日本の部)において、4段以上の部で関東以北から集った並みいる強豪選手らをおさえ見事に優勝を飾りました。

弓道の世界へ飛び込んだきっかけは、高校を卒業後、東京農業大学に入学し、弓道部に籍を置いたことに始まります。「高校時代までは美術部に所属し、どちらかというとスポーツ音痴でしたが、雑誌とかマンガに出てくる弓道の場面が素敵だとあこがれていました」とやさしい笑みを浮かべて話します。

「入部にあたり両親に相談した時は、続かわげがないと反対されました。夜遅くまで練習することもあり、門眼にも間に合わないほどでした。反対されればされるほど悔しかったので意地になって続けたんです」と負けず嫌いの一面をのぞかせます。



登内 薫さん (中新井在住)

はっぴーと野老っ子

人の霊にいろんなことを質問する。普通だったらコインははたけくも動かないはず、でも動いた。それは、やはり純粋な魂だったからかな。今、万が一そんなことがしても、コインは1ミリも動かさず、すくま手上げになる事はない。

並木・横須賀 みどり

あれは確か、小学校のら、6年生だったと思います。母と二人地区の寄り合いの帰り道のことです。回気なく満天の星空をながめていたその時、ある家の上あたり、青白く光る光もともて見えました。

「心で話した」と思った私は、母の手を引く張、暗い夜道を急いで家に帰りました。中学生の兄は「流れ星だ」と信じてくれたけれど、祖母は「心の中のことには見えぬのよ」といってました。

夢の記憶

下安松・折橋 洋子
それは、白一色の銀世界である。遠くの方にありのりある小さな家が1軒。
そこに通じる道を通った黒いマンに身を隠した誰かが歩いていくかがあるはまだ行くことかといふと。

不思議な出来事

久米・井原 喜一郎
退職してから始めたカメラも3年が過ぎました。最近、不思議なものが増えてきた気がした。見通してしまっているものが目に入ると消えてしまったり、

一瞬一瞬の時間がフワリとしてみてもよらない形で効果となって現れます。なんと奇妙な気がします。
指先に感じる緊張感、小さな虫がとてつもなく大きくて、猛に目を見たり、かかれなく花が化け物のように大きくなった。

並木・斎藤 志津子
「足を止め、そっと手を合わせ、道祖神、20数年のお盆にそんな景色の似合った徳州入帰省したときのことか。
せつなく来たのだからと家族で高崎高原へドライブをしたのです。

写真に対する感性を磨きながら、より深い写真の不思議な魅力を表現できたいと思っています。



▲夏本番！連日の猛暑のなか、市民プールがオープンし、多くの市民でにぎわいました。8月31日(金)まで開催中／北野公園市民プール

街かどズームイン ZOOM in

皆さんからの「街かどズームイン」情報を募集▶採用者には事前に連絡します▶「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内▶文章は添削あり▶掲載者には記念品を進呈▶次回のテーマは「ときめく心」▶初恋相手に心をときめかせたり…▶素敵なお芝居や映画をみて幸せだったり…▶自分の興味が持てる世界を見つけてワクワクしたり▶毎日忙しく過ごしていると忘れがちですが、皆さんのお便りをお待ちしています▶締め切りは8月16日(木)必着▶住所、氏名、年齢、電話番号を明記▶送り先：〒359-8501 並木1-1-1 所沢市役所広報広聴課「みんなの広場」係



▲新所沢地区長生クラブのお年寄り、下校途中の子どもの安全を見守ります。7月12日(木)／北小学校正門前



▲天王様の夏祭り。名物のみこしの火渡りが行われ、多くの市民を魅了しました。7月15日(日)／北秋津八雲神社

ご覧いただき

- 所沢レポート
8月31日(金) ①午後5時30分～6時の午後10時15分～25分放映
② 心の減量化
8月16日(木) ①午後1時55分～2時の午後9時55分～10時放映
- 広報JUNKYARD
7月16日(土) 25インチ 除菌機能
● ペーパー(対面式) ● ペーパー(新生原から使用可) ● シュニアシート
● 水槽(小) ● バスケケット ● コールタキイ
● 和裁 ● ティーセット ● バス ● 子供用防具一式(剣道)

広報テレビ番組

- 譲ります ▶ダブルベッド ▶介護用エアーマット ▶電動式介護用ベッド ▶24時間湯沸かし風呂 ▶大の口ポット(電池) ▶スポンブリッカー ▶ワイヤーフロア ▶室内用製すのり台 ▶全自動洗濯機
- 求めます ▶テレビ(25インチ) ▶除湿機 ▶ペーパー(対面式) ▶ペーパー(新生原から使用可) ● シュニアシート ● 水槽(小) ● バスケケット ● コールタキイ ● 和裁 ● ティーセット ● バス ● 子供用防具一式(剣道)
- 受付方法 電話による先着順で紹介します。毎月5日からの受け付けになります。
- 休館日 月曜日、祝休日
- 申し込み・問い合わせ リサイクルふれあい館(TEL) 044-000000

リサイクルふれあい館 不用品ガイド



テーマ「奇妙な出来事」



▲ソマホン・ルフィンさんが元気な子どもたちと意見交換を行いました。子どもフォーラム in 所沢。6月23日(土)／市役所8階・大会議室

馬鹿じいちゃん

西所沢・相良 武雄
高校時代ある夏の晩、友人と二人で航空公園に夕涼みに出かけた。夜遅くも友人と友人影もまはら。まだ多めに整備されていない園内は、丸い木物ばかり。

悪友を怖がらせるにはもってこいの雰囲気。何気なく話の流れをある程度察した怪談へと語りかえる。もともと怖いものが苦手な彼もあまりの自然な展開に知らず知らず聞き入っている。
左右に街路灯の並ぶ北側の道路を歩きながら、話の恐怖のクライマックスを迎えた。ところが友人は強がって「そんな話だよ。馬鹿馬鹿しい」と平然と答えた。その時である。左右の街路灯のうら、友人の歩く右側一列すべてが消えたのは。

ユミさん・ユミさん

東狭山ヶ丘・加藤 富美子
中学生の時、転校生が流行らせたと興味深々、今から思うと、奇妙な出来事だった。

「ユミさん、ユミさん、百歳の男の子ユミさんとうそ来てください。来んか来んかこの社からお入りください。」
「これから質問するのだから答えてくださいませんか。」「良かったらイエスの方へ動いてください。」
穴の空いたトンネルを二人で人指し指で押さえて、ユミさんという

オスガのいももち

和ヶ原・香坂 彪
一坪定らずの庭を持つ家に引っ越してきたのは、4月も終わりのころ。今でも、都心の私立小学校で、キウウリを育てていた。虫媒花を教え、生活科やクラブ活動で新鮮なキウウリを味わってもらうためである。そのため品種は、四葉にこだわっていた。

気にならぬ鈴の音

緑町・伊藤 長香
昨年の末に仲良しだった弟が突然不治の病の告知を受け、それから

今回のテーマは「不思議な出来事」

写真に対する感性を磨きながら、より深い写真の不思議な魅力を表現できたいと思っています。